

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	泌尿器科腫瘍の長期予後を評価する多施設共同観察研究		
1. 研究の目的と方法	患者さんの長期間の診療記録を集め、患者さんが受けた複数の治療の内容と患者さんの検査結果を分析することによって、最も良い治療法とその組み合わせを発見することを目的としております。研究はこれまでの診療で行われたデータを収集することで行われます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年1月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2004年1月1日から2024年3月1日までの間に参加施設にて前立腺がん、尿路上皮がん、腎細胞がんと診断され、開腹手術・腹腔鏡手術・ロボット支援下手術・内視鏡的手術、または放射線照射、内分泌療法、アンドロゲン受容体経路遮断薬、化学療法、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、抗体薬物複合体による治療を受けた20歳以上の患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、既往歴、家族歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、受けた手術や薬剤の内容	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 泌尿器科講座
		氏名	木村 高弘
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学附属病院：福岡屋航 東京慈恵会医科大学附属柏病院：岩谷洸介 東京慈恵会医科大学附属第三病院：占部文彦 東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター：田代康次郎	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	東京慈恵会医科大学附属柏病院 泌尿器科・部長・三木淳（機関の長：吉田博） 東京慈恵会医科大学附属第三病院 泌尿器科・部長・下村達也（機関の長：古田希） 東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター 泌尿器科・部長・山田裕紀（機関の長：飯田誠）		

	<p>富士市立中央病院 泌尿器科・部長・村上雅哉（機関の長：児島章） 亀田総合病院 泌尿器科・部長・安倍弘和（機関の長：亀田俊明） 厚木市立病院 泌尿器科・部長・畠憲一（機関の長：長谷川節） JR 東京総合病院 泌尿器科・部長・小池裕介（機関の長：宮入剛） 都立広尾病院 泌尿器科・部長・石井元（機関の長：田尻康人） 町田市民病院 泌尿器科・部長・菅谷真吾（機関の長：金崎章） 東京北医療センター 泌尿器科・部長・山本順啓（機関の長：宮崎国久） さいたま北部医療センター 泌尿器科・部長・中條洋（機関の長：黒田豊） 太田記念病院 泌尿器科・部長・栢野想太郎（機関の長：有野浩司） 練馬光が丘病院 泌尿器科・部長・成岡健人（機関の長：光定誠） 大和徳洲会病院 泌尿器科・部長・遠藤勝久（機関の長：川本龍成） 東京国際大堀病院 泌尿器科・部長・大堀理（機関の長：大堀理） 東急病院 泌尿器科・部長・小出晴久（機関の長：徳留悟朗） 牧田総合病院 泌尿器科・部長・森武潤（機関の長：小谷奉文） 埼玉慈恵病院 泌尿器科・部長・倉内崇至（機関の長：久保寿朗）</p>
<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：セキュリティのかかったクラウド上にアップロード 試料・情報の利用または提供予定開始日：2024 年 9 月頃以降</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：さいたま北部医療センター 研究責任者：相川 浩一（令和 7 年 3 月 31 日まで） 黒川 学（令和 7 年 4 月 1 日～） 電話番号：048-663-1671（代表）</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。